

台湾新北市新店区との 友好交流都市覚書の締結について





目 次

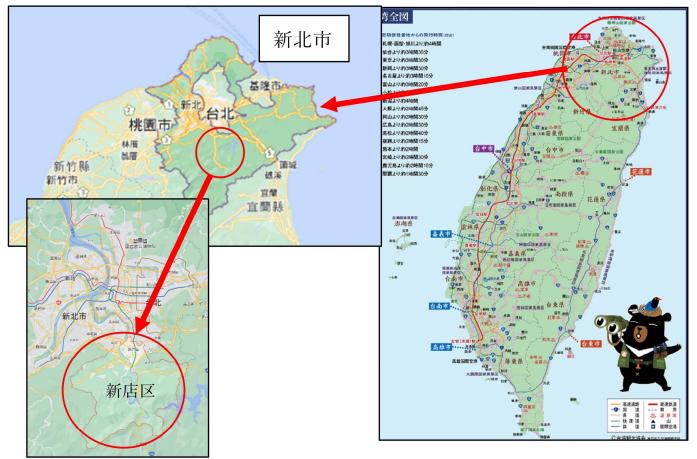
- 1 新店区の概要
- 2 交流の経緯
- 3 締結内容
- 4 新店区訪問の様子
- 5 覚書締結後の展望





新店区の観光スポット 新店渓に架かる碧潭(びたん)吊橋と大石壁

位置: 台湾北部にある新北市内の区であり台北市と隣接



面積:120.22km (安来市 420.93km)

人口:約30万人 (安来市約3万7千人) 台北市のベッドタウンとして発展

産業:農業・・・バナナ、みかん、パイナップル 工業・・・自動車、電子機器(「新店宝高智恵 産業団地」等が作られ、様々なジャンルの 国際企業が進出)

沿革:

平成22年12月25日

新北市が直轄市に昇格した際に新店市から新店区に改称。 新店市長だった王 美月(おう・みげつ)氏が初代新店区長に就任。

平成26年12月25日

林 煌源(りん・こうげん)氏が第2代新店区長に就任。

令和 2年 8月24日

朱 思戎(しゅ・しじゅう)氏が第3代新店区長に就任。

令和 5年 1月31日

陳 怡君(ちん・いくん)氏が第4代新店区長に就任。

交流の経緯



田中市長と朱区長とのオンライン会談での記念撮影(令和4年4月)

平成19年 王新店市長より台北駐大阪経済文化弁事処を介して、 安来市との交流の打診を受ける

平成19年10月 市長が新店市を訪問

平成20年 4月 王新店市長が安来市を訪問

交流に向けた協議を重ねていたが、金融危機やお互いの首長の交代などで 協議が長らく中断

平成30年10月 副市長ほか職員が新店区を訪問

平成31年 4月 市長、議長(現市長)ほか職員が新店区を訪問

令和 2年 5月 林区長を招待し、友好都市協定の締結に向けた協議を 進める予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大 により中止

令和 4年 4月 田中市長と朱区長がオンライン会談を実施 (友好都市の締結に向けた協議を進めることで合意)



令和 5年 2月 新店区において友好交流都市覚書を締結





締結した友好交流都市覚書

- ・産業
- 観光
- 教育
- ・スポーツ
- ・ 文化芸術
- 人材育成





産業クラスターの中核 「新店宝高智恵産業団地」



音楽と光、水のカーテンが調和し た「碧潭水舞」

台湾初のeスポーツ専門学科を持つ 学校「荘敬高級工業家事職業学校」

幅広い分野で交流

令和5年2月の新店区訪問の様子



新店区役所が入る「新店区行政ビル」

友好交流都市覚書締結式



新店区役所にて

市長も参加して安来節公演



安来節保存会による安来節公演(新店区役所)

荘敬高級工業家事職業学校



台湾初のeスポーツ専門学科を有する学校(新店区)

景文科技大学



eスポーツのカリキュラムがある大学(新店区)

安坑モノレール

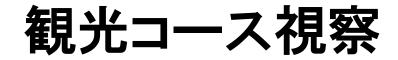


新店区内約8kmを結ぶ路線として新北市が整備し、2月10日に全線開通





高齢者や児童、青年向けのフロアがあるほか eスポーツを楽しむスペースもあり、多目的施設としての利用が考慮されている





新店宝高智恵産業団地





国際企業(自動車や電子部品など)が進出する 新店区の産業団地

覚書締結後の展望



台湾メディアからの取材を受ける市長

台湾は以前より親日家が多く、新型コロナウイルス 感染症が拡大するまでは、中国、韓国に次いで3番 目となる450万人以上の観光客が来日していた。

今回の新店区との友好交流都市覚書の締結により、 人的交流だけでなく、商工団体や民間企業の橋渡し 役となり、経済交流も積極的に推進し、新店区から の誘客や物産の流通の促進を図る。